カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

メイプル東北

Vol.2

真剣な面持ちで盤を見つめるリチャードさん。

将棋を指す構えは、日本人顔負け

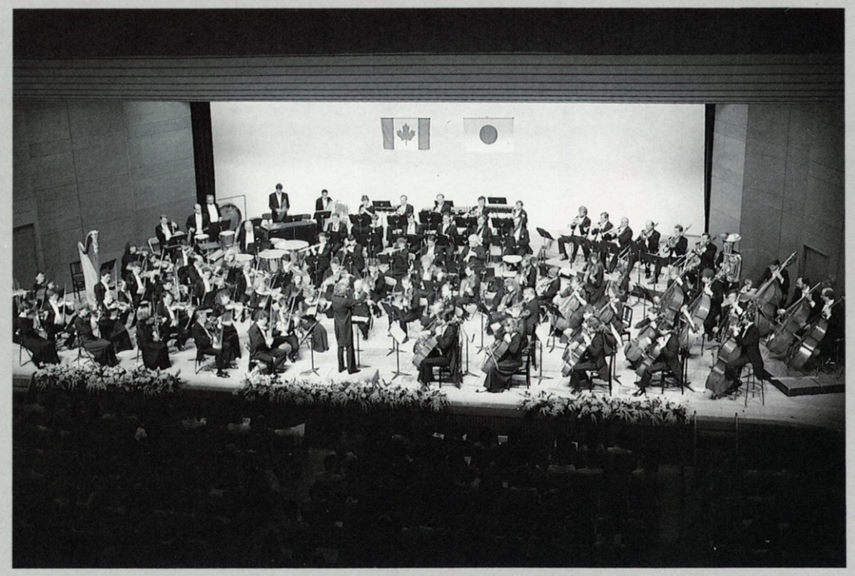
最近、日本人のなかには、将棋や囲碁は古いものとして趣味にしない人が多いようです。

バンクーバー市出身（ブリテッシュ・コロンビア州）のリチャード・ジェンセンさんは仙台在住で、将棋歴１年ですが、なかなかの腕前です。

他にも歌舞伎、相撲など日本の伝統文化に大変興味を持っています。カナダと東北は、自然ばかりでなく住んでいる人も素朴で、どこか似ているところがあるようです。

NEWS

オーケストラの華麗な音色に、カナダの思いを馳せて



▲チェリスト・オーフラ・ハーノイさん

【バンクーバー交響楽団仙台公演】

カナダの代表的なオーケストラの一つであるバンクーバー交響楽団の仙台公演が7月3日、18時30分より仙台市の電力ホールにて開催されました。

これは、今年カナダ政府が新築のカナダ大使館の完成を祝して開催した、カナダの文化紹介行事「GREAT CANADA'91」中から「バンクーバー交響楽団」を東北・カナダ文化交流事業実行委員会（当協会、宮城県等が中心）が、仙台へ招聘したものです。

バンクーバー交響楽団は、1919年に設立された歴史と伝統のあるオーケストラです。

今回の公演には、常任指揮者セルジウ・コミッショーナ氏、また世界的チェリストとして有名なオーフラ・ハーノイさんが来仙し、会場を埋め尽した1,200人の観客が、華麗な演奏を楽しみました。

終了後、楽団員との交流パーティが開催され、当協会会員をはじめ、仙台市民、在仙カナダ人も多数参加し、夜遅くまでカナダの話しに花を咲かせました。

◀▲音楽はごく自然に国境をとり払ってくれます。親善を深めた交流パーティ。

【平成3年度定時総会】

7月3日、仙台市において東北日本カナダ協会平成3年度定時総会が開催されました。3年度も、一層の友好親善に貢献するため、講演会やセミナーの後援、開催など積極的に事業を展開していくこととしています。

定時総会終了後、この度当協会の顧問に就任された元駐カナダ特命全権大使　菊池清明氏の「日本の心・カナダの心」と題する特別講演会が開催され、「カナダはアングロサクソン系（英国）、フランス系、東欧系などの多民族で成りたっており、多元的文化を持つ国家である。カナダのすぐれた点は、それぞれの民族の良いところ、例えばテクノロジー、民主主義、文化等を取り入れているところである。また、カナダは大国でも小国でもなく、Middle Powerの国として日本も学ぶべきところがたくさんあるはずである。」と話されました。

▲「日本もカナダに学ぶことが多い」と語る菊地清明氏

▲マルルーニー・カナダ首相と挨拶をかわす玉川会長

【カナダ名誉通商代表を仙台市に設置】

本年5月に、当協会玉川会長はカナダ政府よりカナダ名誉通商代表に任命されました。

東北とカナダの通商関係の拡大がますます期待される中、今後は経済・商業情報の交換、東北産業界とカナダ企業との交易機会の開拓などの通商協力業務を行ないながら、東北とカナダの経済交流に努めていくこととしています。

なお、カナダ名誉通商代表の事務局は当面当協会内に置かれ、今後関係機関と協議しながら、体制を整備していく予定です。

今年度も講演会やセミナーを積極的に開催

REPORT

大きく広がる友好の輪

盛岡市、カナダのビクトリア市に「あづまや」を建築寄贈

盛岡市とカナダのビクトリア市との縁は、「われ太平洋の橋とならん」と語り国際平和に大きく貢献した新渡戸稲造博士が昭和８年、カナダのバンフで開かれた国際会議に出席後ビクトリア市内の病院で亡くなったことに始まります。そして、昭和60年５月に同博士の生誕の地・盛岡市とビクトリア市は姉妹都市提携を行いました。以来、教育や文化、スポーツ、経済などの各分野で市民の交流が活発に行われてきました。そして、今年姉妹都市提携５周年を記念して、盛岡市はビクトリア市内の海に面したローレルポイント公園にあづまやを建築し、寄贈しました。

一方では、カナダビクトリア大学で開催しているフューチャーパートナーズ（高校生が主体の国際交流プログラム）に、平成元年より参加し、パソコンネットワークなどを活用しながら、カナダのパートナーと地球環境などをテーマに意見交換をしています。今年も８月に盛岡市内の高校生13名が、ビクトリア市を訪問する予定です。

▲セント・マイケル校の聖歌隊がお礼に日本の歌を披露

カナダ自然紀行

迫力も感動も世界最大級――ナイアガラ

▲カナダ滝(幅800～900m、高さ48m)とアメリカ滝(幅300m、高さ51m)の2つが並ぶナイアガラ滝

大陸ならではのスケールを誇る、世界最大の滝ナイアガラ。滝壺の脇の展望台からは、物凄い音で流れ落ちる水の大迫力にしばし茫然。もっと近くで見たい人には、滝壺のすぐそばまで行くボートがおすすめ。圧倒されるほど巨大な水の壁を間近に体験できます。

カナダ―ロメモ

国土　9,976,139㎢(日本の約27倍)
人口　2,662万人（90年）
首都　オタワ（Ｏｔｔａｗａ）
州数　10州２準州
言語　英語、フランス語
民族　ドイツ系、ウクライナ系、イタリア系、中国系など
政体　立憲君主制
元首　エリザベスⅡ世英国女王

ロゴマーク決定

東北とカナダの友好のシンボルです。よろしく！

メイプル東北Vol.1で募集をしておりました当協会のロゴマークに多数のご応募ありがとうございました。

応募作品の中から、高橋重雄様のデザインを参考に東北日本カナダ協会のロゴマークが決定しました。

東北日本カナダ協会ロゴマークについて

「かえで」は、国旗にも描かれたカナダのシンボル。本誌名『メイプル』も英語でMAPLE「かえで」の意味です。

東北日本カナダ協会のロゴマークは、かえでの葉をモチーフに、東北を現す図形と重ね、二つの地域の友好と共栄を表現しています。

また、東北日本カナダ協会の略称「TCJS＝TOHOKU CANADA－JAPAN SOCIETY」を図のなかに織り込んでいます。

協会からのお知らせ

■イベントご案内

ケベックファミリーコンサート

ケベック州出身の６人姉妹の合唱団で、モーツアルト、シューベルトなど約200曲のレパートリーを持ち、その歌声はノートルダムのメッセンジャーと呼ばれている合唱団です。９月下旬より東京をかわきりに東北各地を回ります。

公演日程

●10／９ 18:30開演
仙台市戦災復興記念館
●10／11 18:30開演
仙台市旭ケ丘青年文化センター
●入場無料
●連絡先　仙台ＹＢＵ文化センター　☎261－5341

1991年度カナダ・日本姉妹都市会議

カナダ大使館では、日加間の姉妹都市関係に焦点をあてたシンポジウムを予定しています。今年は、新庁舎「Place Canada」に於て、開催されます。参加ご希望の方は、協会事務局までお申し込みください。

日時　10／16　17:00～10／18　12:30
テーマ　「国際化が進行する中での日加姉妹都市関係の将来」

1991年８月発行
発行人／東北日本カナダ協会　The Tohoku Canada-Japan Society
〒980 仙台市青葉区一番町三丁目７－１
東北電力㈱　地域開発協力部内　ＴＥＬ022-225-2111(代)
ＦＡＸ022-227-8390